

❁ RDB データサイエンス部の特徴

- RDB は 20 年以上に渡って金融機関向けのデータ分析・モデル構築業務を手掛けている老舗企業です。データサイエンス部の始まりはグループ会社のデータ・フォアビジョン社 (DFV) で金融機関が中小企業向け融資審査で用いる信用スコアリングモデルの構築業務を開始した 1997 年まで遡ります。その後、単独の金融機関が保有するデフォルト企業のデータでは十分な精度を持った信用スコアリングモデルが構築できないということから、金融機関が信用スコアリングモデル構築のためのデータを拠出し合い、大規模データベースを構築することを目的に大手銀行、主要地域金融機関等 22 社の共同出資により、2000 年 4 月にデータベースコンソーシアムとして設立されたのが当社 RDB です。
- RDB と DFV は互いにパートナー会社として歩んできましたが、2019 年 2 月に DFV と共同持株会社 (ForeVision 株式会社) を設立し経営統合しました。経営統合に際して DFV のデータサイエンス部は RDB のデータサイエンス部に合流し、ForeVision グループのデータサイエンス部門として新しいスタートを切りました。
- ForeVision グループでは地域金融機関におけるフィナンシャル・デジタルイゼーションの担い手として、デジタル社会に根差した新しいソリューションの提供に取り組んでおり、データサイエンス部はデータサイエンス事業の分野のみならず、データ分析に裏付けられたソリューション提供を実現する点でも重要な役割を果たしています。
- RDB では金融機関向けのデータ分析業務を強みとしています。統計的手法に基づくモデル構築は 20 年に渡る十分な経験と知見があります。最新の機械学習手法に基づく AI モデルの開発も行っています。
- 創業以来続けている企業財務データに関する分析業務に加えて、口座動態データの活用にも力を入れています。口座動態データは即時性、常時更新性、客観性を備え、取引先企業の経済活動を明細単位で把握できる最大最良のデータソースであり金融機関が独占的に保有するものです。RDB では口座動態モニタリングシステム<<**RDB-DynaMIC**>>、およびクラウドサービスとしての発展形である<<**DynaMIC-SMART**>>を開発しており、当システムのデータベースに蓄積された口座動態データの活用分析、システムに搭載する各種 AI の構築分析を展開していきます。
- 更には金融機関外部のビッグデータ収集・分析機能も発展させ、金融機関が内部で保有する企業財務データ及び口座動態データとの相乗効果も活用しながら、一層進化した分析サービスを生み出すことを目指しています。

以上